



「広島駅南口広場 見学会」九州支部

日本鉄道施設協会 九州支部では、会員の技術力向上と相互交流を図るべく、毎年、現場見学会を開催しております。今年度は2025年（令和7年）10月23日、会員23名参加のもと、瀬戸内の陸の玄関口であり、現在大規模な変貌を遂げつつある「広島駅南口広場」を視察いたしました。

本事業の最大の注目点は、これまで地上にあった路面電車を駅ビル2階へ高架で乗り入れさせるという、全国的にも稀有な計画です。これにより、JRと路面電車の乗り換え利便性が飛躍的に向上するだけでなく、広島の新たな都市景観が創出されております。

見学会では、営業中の駅および交通量の多い市街地

における難易度の高い工事について、JR 西日本さまより詳細な説明をいただきました。特に、限られたヤード内での資材搬入計画や、歩行者・一般交通への安全対策、そして巨大な鉄骨が組み上がっていくプロセスにおける精度管理など、現場ならではの創意工夫を目の当たりにし、参加者一同、熱心に耳を傾けておりました。

今回の視察を通じ、近隣エリアの大規模プロジェクトに触れることで、会員各々が日々の業務への新たな刺激と知見を得ることができました。最後になりますが、ご多忙の中、快く視察を受け入れてくださいましたJR 西日本の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。（杉園）

